

ユドヨノ大統領発福田総理宛メッセージ

日本国総理大臣 福田康夫 閣下、

インドネシア政府及び国民を代表し、この慶びの機会を利用して、閣下に対し心より御挨拶申し上げますとともに、インドネシアと日本との間で１９５８年に樹立された外交関係が５０周年を迎えたことに祝意を表します。

この半世紀の間、両国が誠実かつ真の友好関係を築いてきたことを嬉しく思います。これはまた、この５０年の間に、我々が緊密かつ互恵的な協力関係を構築してきたことを意味するものです。

我々両国が、様々な分野において二国間の協力関係をより生産的な形で発展させ、将来に亘ってより緊密な関係となるよう、私は今ここに改めて強い決意を表明します。

民主主義という価値の共有が両国関係を益々緊密化させていることを基礎とし、また、平等、相互の尊重・評価、人権の尊重といった基本原則及び互恵的な協力関係によって導かれる国際法規に則り、インドネシアは世界平和のために引き続き日本と協力していくことを改めてお約束します。

共に平和を愛する国として、インドネシアと日本は、世界及び地域の平和、安定及び繁栄のために、これまで以上の大きな貢献ができると考えます。それは、国連憲章や東南アジア友好協力条約において規定されている基本的価値及びその他の国際法規の崇高なる価値と合致するものです。

より広くより深い二国間の協力関係を象徴するものとして、インドネシアと日本が、これから１年に亘る外交関係樹立祝賀行事を今まさに開始しようとしていることを心から嬉しく思います。日本とインドネシア双方において、経済、社会、文化、教育そしてスポーツといった分野に恩恵をもたらすであろう様々な記念行事が計画されているところです。

インドネシアと日本の関係は、２００５年の「新たな挑戦へのパートナー」及び２００６年の「平和で繁栄する未来へ向けての戦略的パートナーシップ」の署名によって新たな局面を迎え、さらにそれが２００７年の経済連携協定によって確固たるものとなりました。私は、こうした歴史的合意の数々が着実に実施され、実を結ぶよう、両国の全ての関係者を後押ししていきたいと考えます。

２００８年１月、インドネシアと日本の外交関係樹立５０周年を迎えるに当たり、秋篠宮同妃両殿下がインドネシアを御来訪になり、５０周年の開会式典に御臨席頂けることを大変嬉しく思います。我々インドネシア国民は、両殿下の御訪問を心から歓迎申し上げます。今回の御訪問は、両国の友好関係を更に進化させることに寄与するものとなるでしょう。

最後に、インドネシア政府及び国民を代表し、日本政府及び国民の皆様に対し、この５０年の間にインドネシアとの友好関係の継続的な発展に御尽力頂いたことに感謝申し上げますとともに、日本国民の平和で繁栄した未来を心からお祈り申し上げます。

２００８年１月２日
スシロ・バンバン・ユドヨノ